

交通ルールを守って  
つながる笑顔



# かながわの交通

2011

7

聞かさない  
イヤホン運転  
要注意

交通安全年間スローガン(全日本交通安全協会会長賞)  
—歩行者・自転車利用者に対するもの—



ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(6月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成23年		18,401	79	21,754
平成22年		20,084	85	23,827
増減数		-1,683	-6	-2,073
増減率		-8.4	-7.1	-8.7

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,029,996	4,543,159	4,486,837
免許人口	5,506,848	3,218,264	2,288,584
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成22年9月1日、免許人口は平成23年5月末)

## 夏の交通事故防止運動

交通ルールを守って  
夏を楽しく安全に

### 期間

7月11日(月)～7月20日(水)

### 目的

夏のレジャーなどによる過労運転や夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールを守り交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

### スローガン

○安全は 心と時間のゆとりから  
○交通ルールを守って 夏を楽しく安全に

### 重点

- 1 過労運転・無謀運転の防止
- 2 子どもと高齢者の交通事故防止

- 3 自転車の交通事故防止

### 交通安全協会の重点推進事項

● 各種会議、行事等を通じて、運動の趣旨を積極的に

周知するとともに、広報紙を発行するときは、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を呼びかける記事や、子どもを犯罪から守る活動等の記事の掲載に努めます。

● キャンペーンやイベントなどの開催を通じて、運動への参加を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。

● 交通指導員等による街角アドバイスを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。

● 参加体験型の交通安全教室を開催し、自転車・二輪車の安全利用に関する指導を展開します。

● 「ハンドルキーパー運動かながわ」をあらゆる機会を通じて推進して、飲酒運転根絶を図ります。

## 受賞おめでとうございます

～県民功劳賞に渡邊清治郎氏(横浜水上)～



黒岩知事から賞状を授与される渡邊会長(左)

渡邊清治郎氏は、平成2年6月に横浜水上交通安全協会理事として協会の運営に参画された後、平成4年6月から同協会会長に就任し、現在に至っています。また、平成17年5月に(財)横浜市交通安全協会監事、平成18年5月からは(財)神奈川県交通安全協会監事を、また、本年4月1日からは(公財)神奈川県交通安全協会評議員をそれぞれ務めています。今回は、こうした多年にわたる交通安全の普及啓発活動の推進や地域における交通事故防止に優れた成果をあげた功労で、6月14日に神奈川県知事より県民功劳者として表彰されました。

## 地区交通安全協会会長人事

(敬称略)



南  
置田光男  
(6月14日付)



横須賀  
外崎信一  
(6月21日付)



平塚市  
野島和夫  
(5月19日付)



相模原南  
丸塚幾男  
(5月21日付)

第42回交通安全子ども自転車神奈川県大会  
第6回3世代ふれあい自転車神奈川県大会

小田原市立桜井小学校が14連覇達成  
個人は同校の森川英美さんが優勝



ム92人の選手が参加、学科テスト、安全走行テスト、技能走行テストに日頃の訓練の成果を競い合いました。

各チームは、地区の予選を勝ち抜き、厳しい訓練を積んで参加しただけに、いずれ劣らぬ技を披露、付き添いの父兄や交通指導員から大きな拍手と声援を受けていました。また、3世代ふれあい自転車大会も同時開催され、18チーム54人が参加しました。

参加チームはこども大会と同じ会場で、大勢の観衆が見守るなか、子、親世代、祖父母世代3人一組が熱心に取り組んでいました。

(公財)神奈川県交通安全協会、神奈川県自転車安全教育推進委員会、神奈川県警察主催、神奈川県教育委員会、横浜道路局等後援の第42回こども自転車神奈川県大会及び第6回3世代ふれあい自転車神奈川県大会は、7月2日(土)、横浜市中区の横浜文化体育館で開催されました。

本年は、県下23校から23チ

なじみの童謡に振り付けられた動作を音楽に合わせて体を動かしながら交通安全を楽しく学びました。大会の結果は、次のとおりでした。団体は小田原市立桜井小学校チーム(出場選手：富澤明音・6年、森川英美・6年、剣持麻子・6年、椿愛美・6年)が14年連続で優勝し、個人では、同校の森川英美選手が優勝しました。

優勝した桜井小学校チームは、8月3日(木)に東京ビッグサイトで開催される第46回子供自転車全国大会に神奈川県代表として出場することとなりました。

●団体成績(敬称略以下同)

- 優勝 小田原市立桜井小学校
- 第2位 厚木市立清水小学校
- 第3位 大井町立上大井小学校
- 第4位 大和市立中央林間小学校
- 第5位 開成町立開成南小学校
- 第6位 相模原市立横山小学校

●個人成績

- 優勝 森川英美(小田原市立桜井小学校)
- 第2位 椿 愛美(小田原市立桜井小学校)
- 第3位 剣持麻子(小田原市立桜井小学校)
- 第4位 田口寛明(厚木市立清水小学校)
- 第5位 富澤明音(小田原市立桜井小学校)
- 第6位 小川直哉(大井町立上大井小学校)

●三世代チーム団体成績

- 優勝 麻生シガーズ チーム(麻生安協)
- 第2位 チームリサ チーム(栄安協)
- 第3位 上宮田チーム(三浦市安協)

地区交通安全協会事務長会議の開催



挨拶する高橋専務理事

6月22日(水)午後、県協会会館で平成23年度の「地区交通安全協会事務長会議」を開催しました。会議の冒頭、県交通安全協会の高橋専務理事から公益財団法人としてのこれからの取り組みについて、県警と県からは交通安全事故防止等への取り組み等についての連絡事項、県協会の各部長等からは、県交通安全協会当面の諸問題及び連絡事項についての説明がありました。また、会議終了後、元長崎県警察本部長で現在「神奈川県警察ボランティアサポート連絡委員長」を務めている石附弘氏から「交通安全心時代の到来」と題する講演がありました。

二輪車交通事故防止キャンペーン

県防災局安全安心部くらし交通安全課では、多発する二輪車交通事故を防止するため、6月に実施された「二輪車交通事故防止強化月間」が行われていた12日(日)に運転免許本部試験場内で「二輪車交通事故防止キャンペーン」を行いました。キャンペーンには、古尾谷副知事をはじめ県防災局の幹部、警察からは運転免許本部長、交通部幹部のほか交通関係団体から総勢55人が参加し、古尾谷副知事、宮下運転免許本部長、当協会高橋専務理事の挨拶の後、運転免許更新で訪れ



挨拶する古尾谷副知事

ていた人達に啓発物を配布しながら二輪車交通事故防止を呼びかけました。

タイムマシーンあげたい ⑬

警察官から見た交通死亡事故の回顧録

弟の最期

楽しい夏休みの最中、小学五年生、二年生、一年生の仲よし兄弟が、手をつないで近所のお友達の家に向かっていました。

信号機のない横断歩道に差し掛かると、いつもの様に三人は、右手を大きくあげて横断歩道を渡り始めました。

二人のお兄ちゃんが渡り終え、末っ子も

「僕だって、お兄ちゃんと同じように出来るよ！」と言わんばかりに、大きく大きく手をあげて横断歩道の真ん中を渡っていました。

するとそのとき、脇見運転をしていた乗用車が、勢いよく交差点に進入し、こともあろうに、お兄ちゃん二人に見守られながら横断歩道を渡っていた末っ子がけて突進してきたのです。

お兄ちゃん二人が言葉を

発する間もなく、末っ子は、空き缶の様に二十メートルも跳ね飛ばされ、弾むボールの様に何度も路面に叩きつけられ、ほぼ即死でした。

おびただしい血の海の中に横たわる弟の脇で、小学五年生のお兄ちゃんは、救急車が到着するまでの間、弟の名前を、泣きながら何度も何度も呼び続けました。

でも、弟はもう二度と目を覚ますことはありませんでした。

目の前で弟を亡くしたお兄ちゃん達は、笑顔を失い、「外に出ると怖い。」

と家に閉じこもり、学校にも通うことができなくなってしまうました。

弟を亡くした悲しみに加えて、目に焼きついた血の海と弟の亡骸の記憶……この事故が、まだ幼い二人の兄の人生にどのような影響を与えて行くのでしょうか。

町長と語る交通安全  
～葉山を安全・安心なまちに～



葉山町交通安全協会（石郷岡重臣会長）では、このたび、「葉山町の交通安全」をテーマに、葉山町役場で森英二町長を囲んで座談会を開催しました。

座談会には、会長のほか、葉山町交通安全協会市川英子事務長、葉山町交通安全母の会須藤トクエ副会長が出席されました。石郷岡会長からは、「交通安全協会の生い立ち」、「交通事故防止のポイント」、特に、悲惨な交通事故を招く飲酒運転根絶のための「ハンドルキーパー運動の推進」について、市川事務長からは、「各季運動や交通安全日への取り組み」、また、須藤母の会副会長からは「葉山母の会の生い立ち」、「子どもと高齢者の交通事故防止」に向けた協会との連携について話があり、活発な意見交換が行われました。最後に、町長から、「交通事故の撲滅は、町民みんなの願い、葉山を全国に誇れる安全・安心なまちにするため頑張りましょう。」との言葉があり、座談会を終わりました。

～港北、幸地区協会事務所が落成～

港北警察署及び幸警察署庁舎の完成に伴い、両地区協会事務所もこのほど警察署に近接した場所に新築落成しました。港北地区交通安全協会の事務所（3/28）は、木造2階建てで、1階が事務室、2階は小会議ができるスペースを確保しています。幸交通安全協会（6/11）も木造2階建てで、1階は事務室、2階は港北と同じく会議スペースを確保するなど、機能的に造られており、免許更新等に訪れる方々の利便性や業務の迅速性を図りました。

なお、落成を記念して港北、幸両協会に県協会石坂会長から柱時計が贈呈されました。



港北協会事務所



幸協会事務所

トピックス

## 地域交通安全活動推進委員地区研修会の開催

平成23年度の推進委員の地区研修会が各地区で開催されています。この研修会は、各地区推進委員協議会、各警察署が主催し、地区協会のご支援により行われているもので、各警察署長、交通課長等からの管内情勢等の説明をいただいた後、当推進センターの講師から、推進委員としての心構え、活動に当たっての留意事項、道路交通法改正の要点などについての研修を行っています。



警察署長のあいさつ



協議会会長のあいさつ



反射材の効用についての講義



センター講師による講習

※このほか、年度計画により、各ブロック毎に年1回研修会が行われております。

## 賛助会員のご紹介

神奈川県交通安全協会は、公益財団法人として新たなスタートをきりました。「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、さらなる公益性の高い交通安全事業を推進します。今月号から、賛助会員としてご協力をいただいている団体を順次ご紹介します。(登録順)

大成建設(株)横浜支店  
 神奈川日産自動車(株)  
 (株)横浜高島屋  
 日産自動車(株)本牧専用埠頭  
 トヨタカローラ横浜(株)  
 神奈川トヨタ自動車(株)  
 新栄運輸(株)  
 松浦企業(株)  
 (学)武相学園  
 (株)バンテック

横浜市西区  
 横浜市西区  
 横浜市西区  
 横浜市中区  
 横浜市中区  
 横浜市神奈川区  
 横浜市鶴見区  
 横浜市鶴見区  
 横浜市港北区  
 川崎市川崎区



## ハンドルキーパー運動の紹介

### その192 フリー雑誌「ホットペッパー」から

フリー雑誌「ホットペッパー」では、横浜市内の「レストラン」や「居酒屋」などを紹介していますが、随所に「ハンドルキーパーを決めよう」と題して、ハンドルキーパー運動の実践を通じた飲酒運転根絶を読者に呼びかけています。



### その191 陸上自衛隊横浜駐屯地から

陸上自衛隊横浜駐屯地（一等陸佐 増田潤一司令）では、春の全国交通安全運動期間中に、「飲酒運転疑似体験ゴーグル」と「ラインチェッカー」を組み合わせた飲酒運転根絶に向けた体験学習を行い、全隊員にハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



### その194 大船交通安全協会から

大船交通安全協会（齋木昭嘉会長）では、JR大船駅構内通路で、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



### その193 逗子市交通安全協会から

逗子市交通安全協会（小林寿志会長）では、JR逗子駅前、道行く人にチラシや啓発物を配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



### その196 平塚市交通安全協会から

平塚市交通安全協会（野島和夫会長）では、警察署周辺道路で、飲酒運転根絶の看板を掲出し、通行中のドライバーにチラシや啓発物などを配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



### その195 藤沢市交通安全協会から

藤沢市交通安全協会（山崎敏治会長）では、JR藤沢駅構内通路で、乗降客にチラシや啓発物などを配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。





戸塚交通安全協会  
会長  
齋藤 行夫さん

戸塚交通安全協会は、その前身として昭和23年に自動車組合が設立され、その後、昭和33年5月に地域の「交通安全思想の普及啓発」、「交通安全の推進」及び「交通事故防止」を目的に発足し、事務所は、戸塚警察署内に置きました。その後、昭和47年に瀬谷、昭和54年に栄、平成4年に泉が相次いで分区分されたことに伴い、地区交通安全協会もそれぞれ分割され、事務所も、昭和62年12月に警察署脇に新築し、現在に至っています。

現在の戸塚区は、人口27万人を擁し、区の面積としては横浜市18区の中では、一番広く、基幹道路である国道1号が南北に、横浜環状道路の2号から4号が縦横に走り、物流関係を中心として自動車交通量も増加の一途を辿っています。さて、今回はこの地で会長として活躍されております齋藤行夫さんを紹介し

**インフォメーション**

- 第46回子供自転車全国大会  
8月3日(木)東京ビッグサイト
- 第44回二輪車安全運転全国大会  
8月6日(土)・8月7日(日)  
鈴鹿サーキット場

ます。齋藤さんは、昭和44年に神奈川県警察官を拝命し、約20年間勤務されました。主な仕事は、中・高時代に培った吹奏楽の経験を活かし、音楽隊員を希望され、警察と県民を音楽で結ぶ架け橋として県内外各地で演奏活動に従事されました。ちなみに、楽器は、クラリネットを担当されていたそうです。その後、家業の不動産管理業を引き継ぐため、昭和64年に県警を退職されましたが、持ち前の「奉仕の精神」が目覚め、平成4年に戸塚交通安全協会理事として協会の運営に参画されたのを契機に、支部長、副会長などを歴任され、平成22年5月に会長に就任しました。

現在、協会の「若きニューリーダー」として各季の交通安全運動等で先頭に立って活躍されていますが、特に「28小学校実施」では「鉄

こんにちは 「山手交通安全協会」です

山手交通安全協会は、交通安全思想の普及・高揚と交通安全対策の推進を目的に昭和23年7月に発足しました。現在の会長は、初代宮内初太郎氏から数え9代目に当たります佐久間遵一さんが平成18年6月に就任され、現在に至っております。山手は、国際貿易港「横浜港」や観光名所「港の見える丘公園」、「三溪園」などがあり、観光客が多数訪れる街でもあります。協会事務局は、警察署内の一角を借り受け、事務長以下3名で運転免許の更新事務や各季の運動の事務局として活動を推進しています。また、山手地区は諸外国の

方々が多く居住しており、エキゾチックな雰囲気を醸し出していますが、外国人の方も免許更新に来訪しますので、ある程度外国語の会話能力も必要とされます。

当協会の職員は、それぞれ数カ国語を駆使しながら、外国人来訪者に対して親切丁寧な対応で「国際親善」に努めております。

一方、エリア内の交通網は、「コンテナ街道」と呼ばれる道路を通過して、多数の大型トレーラーが埠頭へ出入りしているほか、休日、祝日等には観光地に訪れる車で混雑します。こうした交通情勢に対応するため、各季の交通安全運動等を通じて警察署、協会、地域が一体となった交通安全キャンペーンや交通安全教室な



ど交通事故防止を呼びかける行事等の開催が奏功し、交通事故は減少傾向にあります。

これからも、警察や関係機関・団体のご協力をいただきながら、地域の特色を活かした交通安全活動等を推進して交通事故の撲滅に奮闘していこうと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(梅野 記)

地区交通安全協会の活動紹介

～自転車マナーアップ月間～



**多摩**  
小田急線登戸駅前、交通安全キャンペーンを行い、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。

**伊勢佐木**  
JR桜木町駅前広場で交通安全キャンペーンを行い、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



**伊勢原**  
小田急線伊勢原駅構内で交通安全キャンペーンを行い、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。

**戸部**  
相鉄線西横浜駅前で交通安全キャンペーンを行い、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



**厚木署管内**  
厚木警察署周辺道路で、自転車利用者へ交通安全利用五則のチラシを配布しながら自転車のマナーアップを呼びかけました。

**川崎**  
川崎小田銀座商店街で交通安全キャンペーンを行い、道行く人にチラシや啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



**足柄**  
南足柄市内の幹線道路で青パトや白バイ等で交通広報を行いながらパレードを行い、通行中のドライバーなどに交通事故防止を呼びかけました。

**川崎臨港**  
市内四谷小学校校庭で模擬道路を造って、同校3年生の児童、父兄を対象に実践的自転車交通安全教室を開催しました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

先日、朝ラジオを聴いていたら順天堂大学医学部の小林弘幸先生が交感神経と副交感神経の話をしていました。交感神経は怒り、緊張、不安などに反応して心臓の脈拍が速くなり、血圧を上げるなどの働きをし、副交感神経は体を緊張から解きほぐし、休息させるように働く神経です。交感神経はアクセルに副交感神経はブレーキによくたとえられます。ちかごろはストレスの影響でどうしても交感神経の働きが活発になってしまい、副交感神経がうまく働いてくれない人が多いそうです。副交感神経の働きを高めるコツは「心のゆとり」らしいです。この話を聴いて、今年の年間スローガンを連想しました。

「安全は、心と時間の ゆとりから」。車を運転する際「いそぎ」「あせり」「いかり」等心理的に不安定な状況だとアクセルの操作があらくなり、急ブレーキになりがちです。ふんわりアクセル、加減速の少ない運転等エコドライブが推奨されています。ゆつくりと力まない生活習慣でエコドライブを心がけたいものです。エコドライブで優しく穏やかに走行することが地球環境保全に結びつくとともに交通事故防止にも繋がって行くものと思います。

夏休みで子供たちをよく道路で見かけるようになります。子供たちには特に「思いやりの」心をもってハンドルを握り、子供を見たらスピードを落とし、いつでも止まることが出来る速度を心がけたいものです。「安全は、心と時間の ゆとりから」、この夏も交通事故防止の徹底をよろしく願います。

(Y・O記)